■2■海外水ビジネス

アジア諸国をはじめとした人口増加や都市化の進展に伴い、海外水ビジネスは2025年には約87兆円規模の市場になると予測され ており、国の「日本再興戦略」や本市の「新成長戦略」の柱の一つに位置づけられている。

本市はこれまで培ってきた国際技術協力の実績やアジア諸都市とのネットワークなど本市独自の強みを活かし、北九州市海外水ビ ジネス推進協議会を中心に官と民が力を結集し一丸となった活動を行い、海外水ビジネスの発展、併せて国際貢献に取り組んでいる。

主な取り組み

(1) 「北九州市海外水ビジネス推進協議会」の設立

平成22年8月、幅広い業種にわたる企業(設立当初57社)を始め、学識者、国の省庁等関係機関の参加を得て「北九州市海外水 ビジネス推進協議会(以下、協議会)」を発足させ、全国の自治体で初めて、海外水ビジネスを官民一体となって推進する体制を整え た。

協議会では、これまでの技術協力で培った強い人的ネットワークを持つカンボジア国、ベトナム・ハイフォン市、中国・大連市、インド ネシア国を対象に、参加企業や関係機関の情報共有を図り、海外展開の手法の検討、具体的な案件形成に向け、一丸となった活動 を行っている。

「北九州市海外水ビジネス推進協議会」の組織体制

(平成29年11月1日時点)

北九州市海外水ビジネス推進協議会

会 長 富増健次 (㈱北九州ウォーターサービス 代表取締役社長) 副会長 有田 仁志 (北九州市上下水道局 局長)

※「北九州市海外水ビジネス推進協議会」はアジア低炭素化センターに設置する 「事業化推進研究会」の一つとして位置づける。

オブザーバー(6機関)

- ○総務省
 - ○厚生労働省 ○経済産業省 ○国土交通省
- ○日本下水道事業団
- ○(財)下水道新技術推進機構

会員

民間企業 (146社)

- ○市内企業(82社)
- ○市外企業(64社)

関係機関(9機関)

- ○北九州商工会議所 ○ JICAカ州
- ○国際協力銀行(JBIC) ○(株)日本政策投資銀行
- ○(社)日本水道協会
- ○(独)中小企業基盤整備機
- ○下水道グローバルセンター 構力.州本部
- ○アジア低炭素化センター ○(独)日本貿易振興機構 (JETRO)

学識経験者(4教授)

- ○九州大学
- 楠田 哲也 名誉教授
- ○九州共立大学 森山 克美 名誉教授
- ○東洋大学大学院
- サム 田渕 教授 〇**北九州市立大学**

市関係局(4部局)

- ○企画調整局
- ○環境局
- ○産業経済局 ○上下水道局
- 安井 英斉 教授

務局

㈱北九州ウォーターサービス

(2) ミッション団の派遣

協議会の具体的な活動の第1弾として、平成22年11月にベトナム・ハイフォン市 へミッション団を派遣した。

平成23年4月には、中国・大連市政府の要請に基づき大連市にミッション団を派 遺。「北九州市水ビジネスセミナー」及び「展示商談会」を開催した。

(3) PR活動やビジネスマッチングなど

「VIETWATER 2013 (平成25年10月)」に協議会ブースを出展、また、カンボジ ア国・プノンペン市での水ビジネスセミナー展示会・商談会に参加し、会員企業の技術 を世界へPRした。

また、平成28年10月には、厚生労働省及び北九州市海外水ビジネス推進協 議会とともに、「日本カンボジア水道セミナー&展示商談会」を開催。民間企業 との協力により公害を克服した本市の事例を発表するほか、同協議会の会員 企業とカンボジア国上下水道関係者とのビジネスマッチングを行った。

プノンペン市での水ビジネスセミナー 展示会・商談会